




論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 764 号	氏名	川原 大輔
学位審査委員	主査	弦本 敏行	
	副査	中尾 一彦	
	副査	永安 武	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、大腸癌治癒切除症例における血清 p 5 3 抗体値測定 of 臨床的意義を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>大腸癌切除術を実施した 1 2 8 症例を対象として、血清 p 5 3 抗体値および他の腫瘍マーカーの測定値と臨床像との関連性を比較検討し、さらに各症例における K R A S 遺伝子変異の有無を検証したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、K R A S 遺伝子変異と血清 p 5 3 抗体値との関連性は認められないこと、血清 p 5 3 抗体が術後も陰性化しない症例の予後は不良であることを明らかにし、その測定値の経時的観察は再発リスク予測のために有用であることを示した。これらのことより、今後の大腸癌に関する臨床研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は大腸癌研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと